

## 第 21 回選手権大会（兼区長杯争奪学童予選）

### 【実施要領】

**目的：** 選手権大会は 6 年生最後の小学校野球の集大成の大会であり、区長杯争奪練馬区少年野球選手権大会の予選を兼ねる大会（優勝チームが出場となります。）を目的に開催する。

練馬区の頂点を目指して悔いを残さず、最後まで諦めないプレーでかいっぱい戦って下さい。

熱中症対策には充分注意して行います。また、今年度も新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの開催となります。加盟各チーム・応援の父母・関係者一同のご協力をお願いします。

**主催：** 練馬区学童野球連盟   **後援：** 練馬区   **協賛：** 東京石泉ライオンズクラブ

#### 参加資格

- 1) 選手登録は、連盟に加盟登録している小学 3 年～6 年生
- 2) 選手 10 名以上 20 名以内（監督・コーチ 2 名・スコアラー 1 名を除く）
- 3) 合同チーム参加可能・条件
  - ① 上部大会への出場権利は、発生しません。但し本大会の表彰に該当します。
  - ② 合同チームを編成しチーム名を登録すること。（1 チーム 10 名以下に限る。）
  - ③ 所属チームのユニフォームで出場し背番号の重複を認める。
  - ④ 監督・コーチも所属チームのユニフォームで出場可能ですが、背番号は重複不可。
  - ⑤ メンバー票提出時は、氏名の後に所属チームを記載すること。
  - ⑥ その他、本大会（練馬区学童野球連盟・試合規定）に準ずる。

**日程：** 9 月 5 日（日）～10 月 3 日（日） 予定

**表彰：** 優勝チーム（連盟）賞状・優勝旗・優勝杯・メダル / ライオンズカップ・賞状・メダル

準優勝チーム（連盟）賞状・準優勝杯・メダル    三位チーム 賞状・メダル

（\* 優勝チームは、23 区大会及び区長杯争奪戦、準優勝チームはさわやか少年野球大会へ推薦する）

**会場：** 大泉学園少年野球場・石神井松の風文化公園多目的広場・希望は丘公園多目的運動場

**開会式：** 中止 / 新型コロナウイルス感性症予防の為

**参加費：** 2,000 円 抽選会にて各リーグ長が徴収

**抽選会：** 8 月 29 日（日） 16:00 / 石神井松の風文化公園管理棟 2F 多目的室

**登録票：** 練馬区学童野球連盟HP 申請書書類ダウンロードより登録票を作成し原本をリーグ長経由にて事業部長に提出する。（締切 8 月 22 日） 追加する場合は、試合当日に原本 1 部を本部に提出とする。

**その他：** ・スポーツ安全保険には、必ず加入していることが参加条件です。

・登録票の本部への提出は、必要ありません。

#### 大会役員

大会会長： 中山潤司

大会副会長： 高田公二、山田幸平、大北幸弘、尾崎晋

実行委員長： 井本重喜

副実行委員長： 伊藤武司、山縣泰彦

実行委員： 幸田隆吉、羽石謙二

大会審判長： 宇津野 茂 副審判長： 青木康郎、田中好浩

# 令和3年 選手権大会 競技上及び審判上その他注意事項

■本大会は2021年度公認野球規則、全軟連規則を適用します。但し次の規定を優先する。

## ① 試合イニング

試合は、7回戦とするが試合開始後1時間30分を経過したら5回以前でもその会を最終回とし、新しいイニングに入らない。

## ② コールドゲーム

4回終了時 8点以上の得点差がついた場合は、コールドゲームとする。(決勝戦は除く。)

## ③ 特別継続試合

制限時間内で日没、降雨などにより5回以前に中止になった場合は、後日、継続試合として行う。

また、5回を過ぎて同点で試合が中止になった場合も後日、継続試合として行う。

## ④ タイブレイク方式

7回完了、若しくは試合開始から1時間30分を経過して同点の場合はタイブレイク方式を行う。

継続打順で前イニングの最終打者を一塁走者、その前を二塁走者として無死一塁・二塁の状態で行う。

タイブレイク方式は1イニング行い、その時点で勝敗が決定しない場合は、もう1イニング同じ条件で行う。

それでも勝敗が決定しない時は抽選で勝敗を決定する。

## ⑤ 出場資格

連盟に加盟登録している3年生以上の単独チームとするが、1チーム10名以下の場合は、同様の他チームと編成して合同チームとして参加を認める。

## ⑥ 投球回数制限

投手はタイブレイクも含め1日70球(5・6年)とする。4年生以下の場合は、60球までとする。

## ⑦ ベンチ入り

ベンチ入りは、登録された監督、コーチ2名、スコアラー、と選手20名以内とする。但し、熱中症対策として保護者2名以内をベンチに入れることができる。(但し、チームスタッフを除く。)

## ⑧ 使用球

ナガセケンコーJ号とする。全試合連盟より支給とする。

## ⑨ 用具等

試合中、打者、走者、次打者、ベンチコーチは公認の両耳付きヘルメット、捕手は、公認マスク、プロテクター、レガース、ヘルメット、ファールカップを着用し、バットは、公認マーク入りを使用する。ベンチ内での電子機器(携帯電話、パソコン、カメラ等)の持ち込み禁止としメガホンの使用は、1個のみ監督、コーチの使用を認める。但し電子スコア記録用としての電子機器は認める。

## ⑩ その他

(1) 抽選番号の若いチームが一塁側とする。先攻、後攻はジャンケンで決める。シートノックは、行なわない。

(2) 試合開始予定時刻30分前に大会本部にメンバー票4部を提出すること。

(3) 次の試合の先発バッテリーは、前の試合開始後60分を経過するか、5回終了以降にグラウンド内での投球練習ができる。この際、指導者が一人、選手の安全管理を目的として付き添いを行うこと。

(4) 投手の準備投球は、初回が5球以内とし、次回からは3球とする。

(5) 両チーム指導者は、試合終了後にグラウンド整備を行うものとする。

(6) 本大会参加は全員「スポーツ安全保険」に加入することが参加の条件となります。

(7) 極端に攻撃が長引いた場合は選手の体調を考慮して主催者・審判員は適時給水タイムを取らせることとする。尚、給水タイムは試合時間に含めない。気温条件にもよるが、守備時間15分を目安とする。

(8) ベンチではマスク着用を基本とするが、気温の高い日は熱中症防止のため任意とする場合があるので審判員の指示に従うこと。

(9) 相手チームへの野次や品位のない言動及び選手への恫喝、暴言は認めない。注意を受けたにも関わらず続けた場合は審判員の判断によりチーム責任者とし、監督を退場とする。